

第 1 回 RC 造耐震セミナー

「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(2018) 19 条 壁部材の算定」

主催：日本建築学会中国支部，日本建築構造技術者協会中国支部

共催：広島県建築士事務所協会

日時：9 月 28 日(土) 14:30～17:00

会場：広島工業大学広島校舎（広島市中区中島町 5-7）

定員：80 名

講師：日比野 陽（広島大学 准教授）

近松 英樹（JSCA 中国支部 技術委員長，(株)カナイ建築構造事務所）

参加費：主催・後援団体会員 1000 円，会員外 2000 円，学生 無料

対象：主催・後援団体会員，建築技術者，大学院生，大学生

問合せ：広島工業大学 建築工学科 清水 斉

h.shimizu.tn@it-hiroshima.ac.jp

概要：

構造設計を行う際、建築物の構造関係技術基準解説書(黄色本)をより所とすることが多い。この黄色本には鉄筋コンクリート構造計算規準の計算方法が多く引用されている。その鉄筋コンクリート構造計算規準が 2018 年に改訂された。これを機会に、広島大学の日比野先生に 2018 年版鉄筋コンクリート構造計算規準の「19 条 壁部材の算定」について詳しく解説をして頂く。次に JSCA 中国支部技術委員会メンバーが、耐震壁の計算例（開口率の算定，せん断耐力の算定，開口補強筋の算定）を紹介する。また 2015 年版建築物の構造関係技術基準解説書の付録 1-6 ピロティ形式の建築物に対する耐震設計上の留意点の計算方針でピロティ建物の計算例を紹介する。

本セミナーは、2018 年版の理論，計算方法を説明し，また例題を示すことで鉄筋コンクリートの耐震壁の構造設計の理解が深まることを目的に企画した。是非とも，建築技術者，および大学生・院生の積極的な参加を期待する。